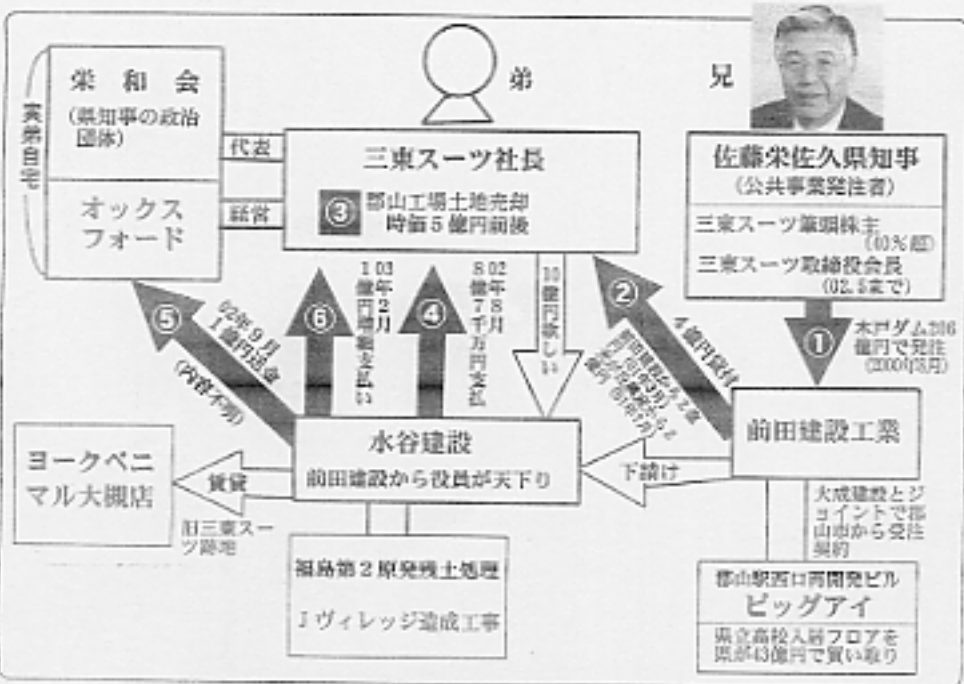


発行・日本共産党郡山・安達地区委員会
〒963-8866 郡山市桑野清水台49-8 後藤ビル1F ☎922-3801 傳932-1903
Eメール jg-ko-ada@hotmail.co.jp

佐藤知事は県民に真相を明らかにして！ 「疑惑」の根っこはムダな大型事業



神山 悦子
佐藤栄佐久知事は1998年に就任し、現在5期目半ばです。ダム建設など大型プロジェクトを次々と計画し、福島空港3千メートル化、トラハイ、小名浜人工島などを一気に具体化したのが、2期目半ばの1998年。さらに未だ博、首班権能移転と続きます。
これを可能にしたのは、県議会のオール与党体制です。共産党以外の自民、公明、民主、社民の各党は、こうした予算に全て賛成。現在も続いています。

私たち共産党県議団は、一貫して「県民にとって不要不急のムダな大型事業をやめ、その財源を全国最下位クラスの医療・福祉・教育へまわせ」と求めてきました。高い落札率や入札制度の改訂もたびたび指摘してきました。
佐藤知事は、実態が経常する郡山三東スーツ社の株を40%以上持つ三東株主であり、また県の公共事業の発注者です。「知らぬ存ぜぬ」で県民は納得しません。自ら解明に乗り出すべきです。

これは不可解——素朴な疑問

1. 木戸ダム発注(①)からわずか約2年半の短期間に、一連の不透明な取引(多額な資金の流れ)が行われている。
2. 前田建設などによる4億円の貸付(②)の担保となった土地には既に銀行が第一の担保を設定しており、ほとんど担保価値がなく実質的には無担保貸付。
3. 水谷建設が時価を大きく上回る価格(④、⑤)で土地を購入している。
4. 不透明な売買は売買代金と引き替えに即日所有権移転登記(土地の所有権を買い主に変更する登記)が行われて取引のすべてが完了する。所有権移転登記から1ヶ月も経過してから売買代金が増額(⑥)されることなど一般的な土地売買ではまったく考えられない。
5. 其弟の自宅に知事後援会の栄和会と同居していたオックスフォード社の実態は？また水谷建設から送金された1億円(⑤)の資金の性格とその内容は？

郡山から見た県政ア・ラ・カルト
揺く 郡山三点セットの罪と罰
知事
オール与党体制の県政は腐る
木村王國崩壊の教訓

今から三十年前の一九七六年(昭和五〇)八月六日、県内全土に大きな衝撃が走った。現職知事木村守江建博、県内衆議院議員、その三十年後の今年七月八日にも号外が飛ぶ。知事実態を暴露し、と建設会社役員も逮捕。疑惑は県の建設事業にも関与する議員と政治家の関連との全貌が明らか。今後の世襲の懸念も議員は三十年前の記憶を重ね合わせて、因循をのんで見ている。県政・財・官の三位一体の腐敗の典型として、「木村後守三郎の崩壊」の教訓が生かされず、三十年後、繰り返されようとしているのはなぜか。県政を取りまく関係は全く変わっていない。自民党の都合で議員議員から知事へ転身で長期政権。県議会は自民党中心のオール与党体制。これを容れざる限り何とも言及される。

三点セットの條件？ビッグアイに異変
郡山の「顔」に「身売り」話
市長

何の因果か、三十年前も今回の事件も異変地は郡山市だ。その郡山市をこの十年半間動かしているのは「栄・正(実)・正」の「黄金の三点セット」(後のトライアングル)。(動力元は郡山労働者会議)と書かれている。その三点セットが力を込めて実現したのが、郡山駅西口再開発ビル(ビッグアイ)だ。果しての二十四階建て「ランドマーク」として、21世紀の郡山の新しい「顔」となる。「広域こおりやま」と呼ばれるパブルの遺棄その遺棄も三年余りで破産寸前。税金は一件も使わないと豪語していたのに、県立高校、市立プラザ、科学館、はては日三の商業施設まで公共施設にのりこめ。丸ごと現金タワーに突進。その上、ビル建設を東武ビル投資会社(フアランド)に売却を交渉中とか。その前田建設も今回の知事実態捜査と同時に捜査された。根は深い。

小泉の地方いじめで共産党が伸びた
議員
議員

六月の二本松市議選で共産党が四人当選したことについて、県議団の自民党議員の間で話題になった。「選挙は共産党の躍進だ。いま共産党が地盤というところはもうとことん、どこから共産党へ票が入ったのだろう。共産党への一票は一時のいいかげん一票ではない。国政のしわざが地方議員選挙に影響を及ぼしている結果だ。」(▼)こども自民党支配の三点セットは大きく強いられている。東京・野田市長も「選挙、事情悪化、選挙後、県市長もいつ我が身の上かとぞんぞん。知事も収入事ではないはずだ。彼らに票があつたらば、最高票は有権者の一票だ。当然、郡山三点セットから目を離さない。」(一)